

事業名：農業経営基盤強化促進事業

主査(農業委員会)

| | | | | | | | | | |
|---------|-------------|------|---|-------|----|-----|----|-----|--|
| 政策 | 02 産業 | | | 戦略 | | | | | |
| 取組の基本方針 | 01 都市型農業の推進 | | | 具体的施策 | | | | | |
| 開始年度 | 昭和58年度 | 終了年度 | — | 区分1 | 継続 | 区分2 | 単独 | 補助金 | |

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

権利移動(所有権移転並びに利用権設定)希望農地

| 指標名 | | 単位 | 29年度実績 | 30年度実績 | 元年度実績 | 2年度当初 |
|-------|------------|----|--------|--------|-------|-------|
| 対象指標1 | 権利移動希望農地面積 | ha | 857 | 427 | 540 | 640 |
| 対象指標2 | | | | | | |

手段(事務事業の内容、手法)

農地の出し手又は受け手からの申出により、その相手方を選定し、あっせん委員により農地の権利移動の手助けをする。

| 指標名 | | 単位 | 29年度実績 | 30年度実績 | 元年度実績 | 2年度当初 |
|-------|-----------------------|----|--------|--------|-------|-------|
| 活動指標1 | あっせん委員(農業委員)による活動延べ回数 | 回 | 39 | 35 | 43 | 34 |
| 活動指標2 | | | | | | |

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

農地の権利移動が適確に行われる。

| 指標名 | | 単位 | 29年度実績 | 30年度実績 | 元年度実績 | 2年度当初 |
|-------|---------------------------|----|--------|--------|-------|-------|
| 成果指標1 | 権利移動農地面積 | ha | 855 | 426 | 539 | 630 |
| 成果指標2 | 流動化率(権利移動農地面積÷権利移動希望農地面積) | % | 99.7 | 99.8 | 99.8 | 98.5 |

| 事業費の推移 | | 単位 | 29年度実績 | 30年度実績 | 元年度実績 | 2年度当初 |
|-----------|--|----|--------|--------|-------|-------|
| 事業費(A) | | 千円 | 196 | 181 | 201 | 195 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 5,333 | 5,339 | 5,381 | 5,419 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 5,529 | 5,520 | 5,582 | 5,614 |

| 事業内容(主なもの) | | 費用内訳(主なもの) | |
|------------|---|--|--|
| 元年度 | <ul style="list-style-type: none"> 農用地の権利移動の促進 農用地利用円滑化事業の実施を促進 | <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 42千円 燃料費 82千円 物品等修繕費 74千円 | |

事業開始背景

高齢化が進み、国として優良な経営者を育成する必要性が生じたことから、農業経営基盤強化促進法が制定され、農地の円滑な権利移動に基づく農地の集積を進める方針が採られた。

事業を取り巻く環境変化

安定した農家の経営基盤を築くには、生産コストの低減を図らなければならないが、農産物の価格低迷等により、農家経営の圧迫は避けられない状況にある。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）

| | | | | | | |
|---|--|--|----------|--|----------------|----------|
| (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？ | | | | | | |
| 成果動向及び原因分析 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>農業の大規模化に伴い、高性能な農業用機器の導入も進んでいることから、規模拡大を図る担い手も多く、農地の集積は進んでいる状況にある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table> | 上がっている | 理由 根拠 | <p>農業の大規模化に伴い、高性能な農業用機器の導入も進んでいることから、規模拡大を図る担い手も多く、農地の集積は進んでいる状況にある。</p> | どちらかといえば上がっている | 上がっていない |
| 上がっている | 理由 根拠 | <p>農業の大規模化に伴い、高性能な農業用機器の導入も進んでいることから、規模拡大を図る担い手も多く、農地の集積は進んでいる状況にある。</p> | | | | |
| どちらかといえば上がっている | | | | | | |
| 上がっていない | | | | | | |
| (2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？ | | | | | | |
| 成果向上余地 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>担い手への農地利用集積は、高齢化や後継者不足により鈍化していたが、平成24年度以降は安定して進んでいる。今後も新規就農等の意欲のある農業者の育成が求められる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table> | 成果向上余地 大 | 理由 根拠 | <p>担い手への農地利用集積は、高齢化や後継者不足により鈍化していたが、平成24年度以降は安定して進んでいる。今後も新規就農等の意欲のある農業者の育成が求められる。</p> | 成果向上余地 中 | 成果向上余地 小 |
| 成果向上余地 大 | 理由 根拠 | <p>担い手への農地利用集積は、高齢化や後継者不足により鈍化していたが、平成24年度以降は安定して進んでいる。今後も新規就農等の意欲のある農業者の育成が求められる。</p> | | | | |
| 成果向上余地 中 | | | | | | |
| 成果向上余地 小 | | | | | | |
| (3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？ | | | | | | |
| コスト | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>現状では新たな方法は考えられない。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table> | ある | 理由 根拠 | <p>現状では新たな方法は考えられない。</p> | なし | |
| ある | 理由 根拠 | <p>現状では新たな方法は考えられない。</p> | | | | |
| なし | | | | | | |